

第1回新清掃センター整備・運営事業者選定委員会 議事録

開催日時：令和2年7月8日（水）10:00～12:00

開催場所：敦賀市役所 4階 講堂

1 建設予定地確認

建設予定地の現地確認を行った。

2 開会

3 委員及び事務局紹介について

【学識経験者】

奥村 充司 准教授（福井工業高等専門学校）

桑原 美香 准教授（福井県立大学）

山内 登喜夫 専務理事（（公財）福井県建設技術公社）

【市町職員】

中山 和範 副市長（敦賀市）

西村 正樹 副町長（美浜町）

中野 義夫 市民生活部長（敦賀市）

彦惣 弘明 総務課長（美浜町）

4 新清掃センター整備・運営事業者選定委員会設置要綱について

選定委員会設置要綱について、全委員にご確認いただいた。

5 委員長及び副委員長の選出について

【決定事項】

➤ 委員長：奥村 充司 准教授（福井工業高等専門学校）

➤ 副委員長：桑原 美香 准教授（福井県立大学）

6 選定委員会の運営について

【決定事項】

➤ 委員会の議事録は摘録とし、委員が確認したものを公表する。

➤ 委員名は公表する。

➤ 第2回以降の選定委員会は非公開とする。

7 選定委員会スケジュール

【決定事項】

- 事務局案のとおり、本事業を進める。

【質問・回答等】

委員 : 第5回選定委員会で行う予定の対面的対話とはどのようなものか。

事務局 : 対面的対話とは、事業者（プラントメーカー）と事務局で行うものであり、事業者（プラントメーカー）が技術提案書の作成を進めるにあたって、市が求める内容等を確認することを目的に実施するものである。なお、委員の方には、オブザーバーとして参加していただくことを想定している。

8 新清掃センター整備事業概要

【決定事項】

- 事務局案のとおり、今後検討を進める。

【質問・回答等】

委員 : 資料中に示されている新清掃センターの事業費に運営費は含まれているのか。

事務局 : 新清掃センターの事業費は、新清掃センター（焼却施設及びリサイクル施設）の建設費、生活環境影響調査等に係る費用の合計としており運営費は含まれていない。なお、事業費は、近年の建設費や人件費の高騰等を踏まえ設定したが、今後、事業を進めていく中で精査する。

副委員長 : 排ガス基準値について、二酸化炭素排出量の基準値は設定しないのか。

事務局 : 現在設定している排ガス基準値は法律等で定められた有害物質に係る基準値であり、二酸化炭素は該当しないため設定しないが、二酸化炭素排出量の削減については国から求められており、国に対して資料提出が必要となるため別途対応する。なお、新清掃センターでは現清掃センターで行っていない発電を行うため、現清掃センターに比べて二酸化炭素の排出量は低減できると考える。

委員 : セメント原料化について、現在は廃プラスチックを敦賀セメント株式会社に搬出しセメント原料化を行っているとのことだが、新清掃センター建設後は焼却灰（主灰）を搬出する予定なのか。また、本件について、敦賀セメント株式会社には了承いただいているのか。

事務局 : 新清掃センター建設後、焼却灰（主灰）を敦賀セメント株式会社に搬出した場合、敦賀セメント株式会社から受入は可能であると回答をいただいている。また、廃プラスチックの受入量が減少することについても問題ないと回答いただいている。

委員 : 事業者について、プラントメーカーと地元の企業と JV 形式で発注を行う予定なのか。

事務局 : 発注形式は今後検討する。

【意見等】

委員 : 敷地造成について、現状の敷地形状を活かすのか平場にするのかは事業者提案としているが、周辺道路から新清掃センター敷地内へのアクセスや景観などを配慮することに留意して検討を進めてほしい。

委員 : プラスチックの処理・資源化の手法については様々な方式があるが、サーマルリサイクル（エネルギー回収）が現実的な方法であると思う。

副委員長 : 二酸化炭素排出量について、近年、自治体排出量カルテなど見える化が進んでおり、住民説明会等へ行く際など、新清掃センター建設に係るメリットとして打ち出せると考えられるため、今回の事業においても対応するのが良いのではないかと。

委員長 : 排ガス基準値のうち水銀については、施設側だけでの対応だけではなく収集の段階で適正に分別いただくことも必要だと考える。

9 その他

なし

10 第2回選定委員会について

【決定事項】

- ・第2回選定委員会は10月15日（木）に草津市立クリーンセンターにて開催する。なお、当日は草津市立クリーンセンターの視察を兼ねる。

11 閉会

以上